

特発性上腰ヘルニアの2例

住吉 慶明¹⁾, 山名 一平²⁾, 岩尾 憲夫¹⁾,
山下 裕一²⁾

¹⁾ 聖峰会マリン病院 外科

²⁾ 福岡大学医学部 消化器外科

要旨：腰ヘルニアは腰背部の解剖学的抵抗減弱部位に発生する稀な疾患である。上腰三角から発生する上腰ヘルニアと下腰三角から発生する下腰ヘルニアがある。腰ヘルニアは外科的修復が必要な疾患であり、最近では tension free の概念から、メッシュなどの人工物を用いた修復がおこなわれている。

1例目は、93歳女性で、左腰背部の腫瘍と痛みを伴っており、2例目も79歳女性で、左腰背部の腫瘍と痛みを伴っていた。

今回我々は特発性上腰ヘルニアの2症例を経験し、1例を Composix Mesh で、他の1例を Mesh Plug を用いて修復した。これらを使用した修復は、術後の痛みやつっぱり感も従来の手術方法にくらべて少なく、患者の生命・生活の向上や入院期間の短縮による経済効果の観点からも有用であると考えられた。

キーワード：特発性上腰ヘルニア，腰ヘルニア，プラグメッシュ，コンポジックスメッシュ